

V 生涯学習課

1 庶務係

蟹江町社会教育委員名簿

職 名	氏 名
委 員 長	高 阪 康 彦
副 委 員 長	古 市 雅 英
委 員	永 松 久 朋
委 員	今 井 雅 良
委 員	伊 藤 辰 男
委 員	山 田 久 子
委 員	服 部 光 弘
委 員	飯 田 數 義
委 員	伊 藤 清 敏
委 員	山 田 清 一
委 員	戸 谷 等

(敬称略)

(1) 社会教育委員の活動状況

① 社会教育委員会議の開催状況

ア 社会教育委員会議の構成

(ア) 会議の種類

定例会（年2回開催6月・11月）

(イ) 構成員

社会教育委員、教育長、教育次長、生涯学習課長、歴史民俗資料館副館長、生涯学習課長補佐、図書館副館長、生涯学習課係長

② 会議の運営状況

平成23年度における蟹江町社会教育委員の定例会の主な活動状況は次のとおりである。

開催日	議案・報告事項等
平成23年 6月15日 (定例会)	【協議事項】 1 平成22年度事業報告について ア 生涯学習・生涯スポーツ関係事業報告について イ 歴史民俗・文化財保護関係事業報告について ウ 蟹江町図書館事業報告について

開催日	議案・報告事項等
平成23年 6月15日 (定例会)	2 平成23年度事業計画について ア 生涯学習・生涯スポーツ関係事業計画について イ 歴史民俗・文化財保護関係事業計画について ウ 蟹江町図書館事業計画について
平成23年 11月30日 (定例会)	【協議事項】 1 蟹江町社会教育委員の経過報告について 2 平成23年度事業経過報告について ア 生涯学習・生涯スポーツ関係事業報告について イ 歴史民俗・文化財保護関係事業報告について ウ 蟹江町図書館事業報告について 3 平成24年度事業計画(案)について ア 生涯学習・生涯スポーツ関係事業計画について イ 歴史民俗・文化財保護関係事業計画について ウ 蟹江町図書館事業計画について

2 生涯学習係

(1) 公民館事業

講座・各種教室の開催

(平成23年度実績)

① 公民館講座

講座・教室名	中央公民館		
	開催数	募集人員	参加数
和装着付け&お作法	2回	15人	8人
お茶の心教室	4回	15人	8人
初めてのオカリナ教室	5回	20人	16人
お天気教室	3回	20人	7人
水彩画教室	5回	20人	21人

② 公民館自主グループの支援

公民館講座の修了者が、結成した自主グループに対し、施設利用料の一部を減額することで、団体活動を支援し、公民館活動を促進する。

〔点検・評価〕

生涯学習・文化活動の拠点として、学習や交流の場を提供するため、各種講座を開設している。また、参加者に対するアンケート調査を実施し、今後も町民のニーズに応えられるような講座を開設していくことに努めていく。

(2) 家庭教育・人権教育

① 家庭教育講座

講座・教室名	開催数	募集人員	参加数	開催場所
わくわく子育て教室	5回	25家族 50人	25家族 51人	蟹江中央公民館
ファミリーウォーキング	1回	100人	40人	民俗資料館から町内一円
親と子の料理教室	1回	12組 24人	12組 24人	蟹江中央公民館
オオクワガタを育てよう	1回	60人	161人	蟹江中央公民館
ちょこっと探検隊	1回	20組 40人	10組 21人	愛知県防災ヘリ(名古屋空港) 昭和村
ディキャンプ教室	1回	50人	申込少数 の為中止	蟹江川水辺スポット

〔点検・評価〕

わくわく子育て教室については、多数の参加があり、子育てに関する関心が高いことが確認できた。

オオクワガタを育てようは、単発事業で初開催であったが、予想を上回る参加があり、継続を検討したい。

ディキャンプ教室については、初開催であったが、参加申込者が少なく中止とした。次年度以降の事業の検討を要する。

他の3事業については、定員に達していないことから、アンケートを参考に次年度に向けて新しい事業計画を検討していきたい。

② 人権教育研修

- ・ 人権指導者研修会(県教育委員会主催事業) 年2回

〔点検・評価〕

県主催の研修会へ町教育関係者が参加しているが、人権教育啓発運動に取り組むなど、今後の課題として検討していきたい。

(3) 青少年健全育成

① 青少年健全育成講座

講座・教室名	開催数	募集人員	参加数	開催場所
子ども料理教室	2回	各24人	15人 12人	蟹江中央公民館
子どもマジック教室	2回	各20人	13人 14人	蟹江中央公民館

② 成人式

「はたち」を迎える新成人が、明るい未来の担い手としての自覚を持ち、社会人としての責任ある行動をとることを願い、地域社会全体で祝い励ます。
(開催日：平成24年1月8日(日) 対象者：451人 参加者：346人)

③ 青少年相談事業

青少年問題協議会専門委員による相談事業を毎月1回、中央公民館分館にて実施している。

④ 青少年健全育成運動

青少年の非行防止のため、指導者研修会や街頭指導を年2回実施している。

[点検・評価]

講座での参加応募は、どちらも定員割れとなっており町民のニーズに役立っているか検討を要する。

成人式は、町外へ転出している方も出席できるよう、窓口を広げていることもあり、出席率もよい。また、女性からは午後の開催ということが、着付けに早朝から行かなくてもよいことが好評である。

(4) 生涯学習関係団体育成

① 蟹江町文化協会

文化協会の円滑な運営及び芸術文化活動の充実に資するため、補助金を交付し指導・育成する。

9部門 46団体 735人 補助金1,157,250円

② 蟹江町婦人会

婦人の地位向上や心豊かな地域社会の発展に寄与することを目的に、婦人会に対し補助金を交付し支援する。

9支部 14,600世帯 補助金1,180,000円

③ 蟹江町小中学校PTA交付金

学校と連携を密に、教育の充実と地域社会の発展・振興に寄与するPTA活動に対し、交付金を交付し支援する。

7小中学校 3,062人 交付金1,381,180円

[点検・評価]

町民が健全で豊かな生活を営むために、社会教育関係団体に対して補助金（交付金）を交付することにより、町民の健康と地域文化の向上並びに町民相互の親睦を図ることができる。

(5) 生涯学習まちづくりの推進

① 生涯学習まちづくり推進町民大会の開催

青少年健全育成・家庭教育推進・生涯学習の推進を促す町民大会として開催した。

- ・ 開催日 平成23年7月3日(日) 開催場所 蟹江中央公民館集会室
- ・ 講師 高橋 元太郎氏
演題 “うっかり八兵衛”の人生ドラマ
～人生は出逢い、ふれあい、支えあい～
入場者 330人

② 文化祭の開催

町内における文化振興を図り、各種文化団体（または個人）の親睦と連携を深め、併せて生涯学習まちづくりを推進する。

- ・ 開催日 平成23年11月5日(土)・6日(日)
展示の部 2,136人
芸能の部 36団体
- ・ 開催場所 蟹江中央公民館・蟹江町体育館

③ 創年式の開催

60歳を迎えた方が集い、人生の節目を共に喜び合い、地域への連帯感を確認しながら人生の再出発を祝う。

- ・ 開催日 平成23年10月23日(日) 対象者： 519人 参加者：85人
- ・ 内容 式典、各種相談コーナー
(健康相談・ボランティア・生涯学習啓発)
- ・ 講演会 高阪 義男氏『創年式・・・』

[点検・評価]

生涯学習まちづくり推進町民大会は、土曜日から日曜日に開催日を変更したことにより参加者が、大幅に多くなり、集客力のある講師選定が必要不可欠である。

また、今年で4回目の創年式を開催した。対象者から見ると出席率が平成20年度が31%、平成21年度が21%、平成22年度は27%、平成23年度は16%であり、出席率が低いのが課題であり、そこで対象者と協働して企画するなどして、創意・工夫し、出席したい内容にしていくことが必要である。

3 歴史民俗係

(1) 歴史民俗資料館利用状況

開館日数及び入館者数(内講座利用者)

- ① 開館日数 309 日
- ② 入館者数 10,270 人(456 人)
- ③ 1 日当たり 33.2 人

[点検・評価]

平成 23 年度は、入館者数が 22 年度に比べて 1 割程度増加した。2 月開催の近鉄ハイキングのコースが復活したことも影響しているが、特別展や講座参加者の増加もあり、来館者の関心の高い内容の事業を実施したことへの効果があらわれたものだと考えられる。

今後も町観光協会、ガイドボランティア等の団体とタイアップを図り町内外から来館者を誘致するほか、リピーターも増やしていくよう努力する必要がある。

(2) 収集・保管

- ① 収蔵資料点数 4,027 点
- ② 郷土文化資料購入

館蔵資料の充実のため、郷土の文化人や町の歴史に関する資料等を購入した。

小酒井 不木(医学博士・探偵小説家・俳人) 掛軸 1 点

鉄道関連文書 11 点

③ 資料の寄贈

- ・平成23年11月5日、蟹江家当主蟹江浩嗣氏より蟹江家資料の寄贈を受けた。

古文書 601 点

近世以降の生活道具 40 点

- ・その他町内外の方から関連資料 12 点の寄贈をうけた。

[点検・評価]

平成 23 年度においては、寄託資料として保管していた蟹江家資料のうち、古文書を中心に 641 点の寄贈があった。これらの資料については、今後時間をかけて調査研究をおこなうとともに、特別展示等により一般公開できるよう準備をすすめている。一方、資料の数は年々増加し、既存施設では収容力不足となりつつあり、新たな収蔵施設の充実を図る必要があると思われる。また、収蔵資料情報や、周辺の画像資料などもデジタルデータとして保管していく必要があり、資料保存のための周辺機器や設備を整備する必要がある。

(3) 展示

① 常設展示の充実

年間を通じて、テーマを設定し、郷土の文化、民俗にかかる資料の展示を行い、さらに購入した郷土文化資料や新たな寄贈資料を加えるなどし、常設展示の充実を図った。

② 企画・特別展示

○ 町の歴史・民俗関連の企画展・特別展を実施した。

ア 特別展

- ・「蟹江の地図・地名の変遷」

展示場所 企画展示室

展示期間 平成23年11月19日～12月18日 来館者数 896人

- ・「橋ものがたり」

展示場所 企画展示室

展示期間 平成24年1月28日～2月26日 来館者数 1,685人

イ 企画展

- ・「須成祭写真展」

展示場所 ロビー展示

展示期間 平成23年7月2日～8月21日

- ・「エコきつず調査隊成果発表展」

展示場所 ロビー展示

展示期間 平成23年8月25日～9月11日

- ・「蟹江の祭礼写真展」

展示場所 企画展示室

展示期間 平成24年3月25日～3月31日

〔点検・評価〕

展示活動は、資料館が資料収集した資料等を調査研究したうえで公開するもので、資料から一目で学習情報を読み取り理解できるという学習効果が望めるという資料館の重要な事業の一つである。平成23年度においては、特別展の内容として、町名の変遷や、須成祭と橋との関連など、開催時期に多くの方が関心をもたれているテーマで開催し、町内外から多数の来館者があった。今後も、来館者の満足度の高い内容のテーマ設定・内容の展示をいかに行っていくか、常に配慮することも必要である。

(4) 調査・研究

- ① 資料館関連資料についての調査・研究

展示内容の充実を図るために、関連資料等の調査・研究を行った。

- ② その他調査

愛知県史編纂等に伴う調査への協力等を、依頼に応じて随時行った。

〔点検・評価〕

調査・研究した資料を展示し、教育普及・情報提供活動に供する点で、調査・研究活動は資料館運営の根幹事業である。これからも調査・研究事業を円滑に進めていくためには、関係各位の協力が不可欠であり、地域との連携が重要になってくるであろう。

(5) 情報提供

① 各種印刷物等の発行

歴史民俗資料館年報第 32 冊出版

② 関連機関発行の印刷物等への情報提供

蟹江町観光協会を始めとした関連機関に対し、町の歴史や民俗に関する情報提供を、依頼に応じて随時おこなった。

〔点検・評価〕

歴史民俗資料館年報 32 冊については、教育委員会及び県立図書館などに寄贈したほか、既刊の印刷物とともに窓口で有料配布を行い、資料を持ち帰って学習したいという来館者のニーズに対応している。また、近年、他機関からの情報提供の依頼も増加しており、速やかに対応できるよう、データベースを整備しておくことも重要になってきている。

(6) 教育普及

講座・教室名	中央公民館分館		
	開催数	募集人員	参加数
古文書を読む会	8 回	30 人	20 人
歴史文化夢案内人 (ガイドボランティア) 第 8 期養成講座	10 回	20 人	6 人
環境学習 エコきつず調査隊	5 回	20 人	20 人
郷土体験学習会	5 回	25 人	17 人
地域文化財講座	1 回	60 人	71 人
文化財研修会	1 回	70 人	83 人

〔点検・評価〕

地域の歴史や民俗に関する各種講座を開催した。また、受講後に学んだことをどのように地域活動に活かすことができるか、ということを考えてボランティア養成講座も実施した。地域文化財講座は平成 22 年度に終了した須成祭の記録作成事業の成果をうけて、文化財研修会は平成 24 年 3 月 8 日に須成祭が国指定の重要無形民俗文化財となったことをうけて、それぞれテーマを設定し実施した。須成地区の方はもとより広い地域の方に受講いただき関心の高さがうかがえた。今後も多くの方に関心を持っていただけるような内容で事業を推進していくよう努力していきたい。

(7) 施設等の整備

① 特別展示室改修工事

特別展示室の床、壁面及び照明の改修を行った。

② 吉川英治文学碑移設工事

蟹江川堤防にあった吉川英治句碑を佐屋川尻へ移設し整備した。

〔点検・評価〕

昭和 53 年開館である資料館は、老朽化が目立つ部分もあり、随時改修が必要となってきた。平成 23 年度においては、かねてから壁面や床の汚れが目立っていた特別展示室の改修工事を行った。これにより、資料を効果的にみせることができるようになった。照明も LED を導入することによって展示資料を紫外線から守る効果があるだけでなく、節電への効果もあった。展示施設の面では、根本的な展示スペースの不足などの問題も対策が望まれる。

吉川英治文学碑については、傾きがみられるという問題と周辺の環境の変化の問題があったため、俳句の内容にふさわしい佐屋川尻への移設をおこなった。文学散歩道とつながったことから、来場者が効果的に文学散策ができるようになった。

4 文化財保護係

(1) 平成24年3月8日須成祭が国の重要無形民俗文化財に指定された。

- ① 指定名称 須成祭の車楽船行事と神葎流し
- ② 所在地 須成
- ③ 保護団体 須成文化財保護委員会
- ④ 公開期日 毎年7月初旬～10月下旬

宵祭…8月第1土曜日 朝祭…翌日曜日 神葎流し…翌月曜日

なお、当日は指定証書交付式が東京都で行われ、関係者が出席した。

また、これにともない町指定及び県指定は解除となった。

(2) 文化財保護等補助事業

町内文化財保護団体に対し、文化財保護にかかる経費の補助を行い、歴史・文化の形成を正しく理解する上での基礎資料である文化財を、過去から未来に保存・伝承し、活用を図る等、人的・物的支援を実施した。

事業数：県指定無形民俗文化財伝承活動事業始め6事業

補助団体件数：須成文化財保護委員会始め22件 町費補助額 3,196,000円

(3) 文化財資料出展公開事業

10月の町民まつりに併せて、各町内会に協力を依頼し、町内に存する神楽屋形や祭囃子等をまつり会場にて出展公開した。

公開期日 平成23年10月9日(日)

協力町内会 須成、蟹江新町、今、源氏才勝、西大海用、本町分、舟入

(4) 重要文化財公開事業

国指定重要文化財である龍照院の十一面観音立像と富吉建速神社・八劔社本殿の公開を毎月18日に行ったほか、事前申し込みにより随時公開を行った。

〔点検・評価〕

平成 24 年 3 月 8 日須成祭が国の重要無形民俗文化財に指定された。これについては、平成 18 年度から 22 年度まで 5 ヶ年かけ、国の補助をうけて実施した須成祭記録作成事業の成果が実ったものだともいえるだろう。これを受け、今後、普及・啓発を含めた保護活動をさらに続けていくべきである。

補助事業及び文化財公開活動は各地域に伝承された祭を始めとする無形民俗文化財を積極的な保存・活用に努めることが出来た。

文化財公開に際して歴史文化ボランティアの人材を活用することにより文化財に対する理解などを深める効果がある。平成 22 年度は第 3 日曜日に定期公開を実施していたが、日程が分かりにくいという意見もあり、平成 23 年度は、観音様の縁日である毎月 18 日に変更して実施することとなり、多くの層の方に来場いただいた。

5 生涯スポーツ係

(1) スポーツ事業

① 各種スポーツ教室

町民が日常生活の中にスポーツを取り入れ、楽しみながら体力向上と健康増進を図ることを目的として開催した。

講座・教室名	開催数	募集人員	参加数	開催場所
ヨガ教室	5 回	60 人	59 人	蟹江町体育館
ウォーキング・ランニング教室	4 回	40 人	32 人	日光川ウォーターパーク
チェアフィットネス教室	5 回	30 人	4 人	蟹江中央公民館

〔点検・評価〕

講座・教室の参加応募は、ヨガ教室については 59 名で昨年の 69 名から若干減少した。ウォーキング・ランニング教室は、「みんなと一緒に走る」という意識の人の希望に答えられたと考える。チェアフィットネス教室については、参加者が少なかった。今後、時期・時間帯等を検討し、住民ニーズの把握に努め、参加者が参加しやすい講座・教室を開催していく。

(2) 体育指導委員・地区スポーツ推進員

町民がスポーツ及びレクリエーション活動をすることにより、体力の維持・向上を目指し体育指導委員、地区スポーツ推進員を教育委員会が委嘱する。

① 蟹江町体育指導委員

・ 平成 23 年度 18 人（平成 22 年度委嘱）

② 地区スポーツ推進員

・ 平成 23 年度委嘱 42 人

③ 各種講習会

・ 指導者研修会

ニュースポーツフェスティバル開催に向け、体育指導委員及び地区スポーツ推進員に対し、指導・普及を目的として講習会を開催した。

【種目】体力テスト、ドッジボール、キンボール、スクエアステップ
ペタンク、スポーツスタッキング

・ 体育指導委員各種研修会

ビーチボールバレー

〔点検・評価〕

体育指導委員が、各種研修会へ積極的に参加し体育指導委員の資質向上を目指す。また、生涯スポーツを推進していく手段として、ニュースポーツを通じて、町民の運動への関心を高めることが重要であり、体育指導委員を中心として、地区スポーツ推進員と連携し各種教室・大会を開催した。

(3) スポーツ団体の指導・育成

① 生き生きかにえスポーツクラブ

総合型地域スポーツクラブとして平成22年3月14日に設立。

・ 役員 理事 10人 監事 1人

会員数 563人

講座数 常時 14講座 短期 2講座

イベント 2回（ウォーキング、バスハイキング(伊勢神宮等散策)）

・ 交付金等 交付金 3,000,000円

② 蟹江町体育協会

体育、スポーツの振興と普及を図り、町民の体力向上を資すると共に、健康で明るい社会の建設を目的とする協会の活動に対し、指導・育成する。

16団体 1,401人 補助金 2,641,200円

③ 蟹江町スポーツ少年団

青少年がスポーツを通じて心身を鍛錬し、青少年の健全育成に資することを目的とした団の活動に対し、指導・育成する。

19単位団 団員 543人 指導者 129人 補助金 816,800円

〔点検・評価〕

スポーツ関係者の理解・協力を得て、設立準備委員会、運営委員会を重ねた結果、海部地区で2番目となる総合型地域スポーツクラブ「生き生きかにえスポーツクラブ」が設立され、2年目となり、会員の加入も増加し、順調に運営されている。

体育協会・スポーツ少年団は自主運営がなされているが、会員・団員の増員を図ることや、庶務等の生涯学習課からの事務移譲が課題である。

(4) 各種協議会・大会の開催

① 第7回ニュースポーツフェスティバル(民生部 健康推進課 共催事業)

気軽に楽しめるニュースポーツを通して、明るい町民生活に寄与することを目的として開催する。また、体力テストの実施により健康維持増進に役立つ。

- ・ 実施日 平成23年9月4日(日) 参加者数/164人
- ・ 開催場所 蟹江町体育館及び蟹江中央公民館

② 第31回 蟹江町みんなで走ろう会

みんなで走ることにより、体力づくりと家族のふれあいや友達との親睦を深めることを目的として開催する。日光川ウォーターパークを発着点として、3km及びジョギングの2部門を実施した。

- ・ 実施日 平成23年12月11日(日) 参加者数/549人
- ・ 開催場所 日光川ウォーターパーク周辺

③ 第32回 蟹江町駅伝大会

チームで走ることにより、相互親睦と協調性を高め、地域住民のスポーツの振興を図ることを目的として開催する。新蟹江小学校を中継点に、5人1組で、17.3km及び12.3kmの2部門を実施した。

- ・ 実施日 平成24年1月29日(日) 参加チーム/135チーム
- ・ 開催場所 新蟹江小学校周辺

④ みんなで歩こう会(年2回開催)

みんなで歩くことにより、体力づくりと家族のふれあいや友達との親睦を深める。また、ウォーキングの習慣を身に付けることで健康増進を図ることを目的として開催した。

- ・ 実施日 平成23年6月5日(日) 場所 岐阜県飛水峡 参加者 69人
- ・ 実施日 平成23年10月30日(日) 場所 愛知県犬山市 参加者 49人

⑤ 愛知万博メモリアル第6回愛知県市町村対抗駅伝大会

2005年「愛知万博」を次世代へ語り継ぐと同時に、愛知県内の市町村の交流、市町村合併後の一体化促進、県民意識の高揚、県民スポーツの振興を目的として開催され、参加した。

- ・ 実施日 平成23年12月3日(土) 開催場所 愛・地球博記念公園
- ・ 内容 小学生の部から40歳以上の部まで男女9名による継走
- ・ 出場者 一般公募により選手選考を経て選手決定
- ・ 成績 町村の部 17市町村中6位

〔点検・評価〕

昨今の健康志向によりジョギング、ウォーキングなどの軽運動での参加者は多くなってきている、また駅伝大会は町外からの参加も多く、特に盛り上がりを見せている。ニュースポーツフェスティバルは、もう少し参加者が多くなるよう内容を再検討し、より多くの住民が参加したいイベントにしていきたい。

(5) その他

① スポーツ表彰

蟹江町在住・在勤の者が、全国規模のスポーツ大会に蟹江町及び愛知県の代表選手として出場した場合、榮譽を称えるため蟹江町功労者表彰により表彰した。 表彰者／ 12人

② 全国大会等出場選手奨励金支給

アマチュアスポーツ競技の全国大会等に選手として出場する個人または団体の小・中学生に対し、奨励金を支給する。 該当者／ 7人

③ スポーツカレンダーの発行

- ・ 町及び町体育協会等の実施する、年間スポーツ行事を掲載したカレンダーを全戸配布することで、町民に事業参加を促し、スポーツ振興・健康づくりの推進に寄与する。
- ・ 年1回 4月発行 1,000部

〔点検・評価〕

全国規模の各種スポーツ大会へ出場することを、表彰されたり、奨励金を支給されたりすることにより今後のスポーツ活動の糧となり励みとなっている。

6 女性対策係

(1) 女性対策

① 男女共同参画講演会サテライトセミナー

- ・ 開催日 平成24年2月5日(日) 参加者／ 40人
 - ・ 開催場所 蟹江中央公民館
 - ・ 講師 NPO法人愛知西部ボランティアネットワークの会
代表 東嶋とも子氏
- 演 題 「知って得する防災知識～町内の底力」

〔点検・評価〕

男女共同参画講演会として愛知県と共催し住民を対象に防災に対する基礎知識、理解を深める講座「知って得する防災知識～町内の底力」を開催し、40名の男女の参加があった。今後も県との共催事業を計画していく。

また、国・県主催による女性の地位向上に向けた研修事業等に参加し、男女共同参画に関わる学習事業を企画する必要がある。女性教育活動推進のため、民間の女性教育指導者に対し、女性教育指導者としての資質向上を図る研修事業等に参加を求めている。

7 施設係

(1) 生涯学習施設、設備及び備品の整備

① 中央公民館及び中央公民館分館の施設老朽化に伴う改修を実施した。

中央公民館	舞台機構改修工事	30,240,000 円
	同設計監理	1,209,600 円
	屋上防水改修工事	4,620,000 円
	同設計監理	369,600 円
公民館分館	エレベーター改修工事	430,500 円
	下水道排水設備接続工事	4,305,000 円
	同設計監理	301,350 円
民俗資料館	1階特別展示室改修工事	3,759,000 円
	同設計監理	263,130 円
	吉川英治文学碑移設工事	5,775,000 円
	同設計監理	367,500 円

② 体育館及び体育館分館の施設老朽化に伴う改修計画を策定した。特に、体育館分館を総合型地域スポーツクラブのクラブハウスとして効率的に利用した。

③ 生涯学習施設をPRし、使用方法等を周知し、更に一層の利用促進を図った。

④ 町民プールとして民間スポーツ施設(ケーニーズ)を借り上げ、一般開放した。 ・ 実施期間 平成23年6月～8月の日曜日(13日間)

④ 学校体育施設を町民の健康増進及びスポーツ振興を図るため、町内小・中学校の屋外・屋内体育施設を町民に開放した。

[点検・評価]

グラウンド、テニスコートの有料化も定着してきた。総合型地域スポーツクラブが発足し、今までの体育協会等の既存利用者の利用既得権が強いことから、「生き生きかにえスポーツクラブ」の活動場所の確保が困難であったが、体育施設の有効かつ効果的な利用を推進するために、利用頻度の少ない施設の活用及び、連絡調整に努めた。

施設の老朽化にともない、施設修繕の必要性が増加してきている。今後、改修計画等に従ってメンテナンスを行っていく必要がある

また、平成17年度から町民プールとしてケーニーズを開放してきたが、平成24年度以降契約できないので、町民プール事業の見直しが必要となる。